

八幡平市

市消防団として初の出初式で団結強化

消防団の団結を図り、市民の生命と財産を守る使命を認める市消防団出初式は1月3日、西根地区で行われました。

当日は、消防団員約500人と婦人消防協力隊員約200人が出勤。大更駅前から大更郵便局までの目抜き通りを威風堂々と分列行進し、市消防団の心意気を示しました。



大更駅前から大更郵便局まで威風堂々と分列行進する市消防団と婦人消防協力隊。一糸乱れぬ行進で心意気を示しました。今年の出初式は西根地区で開催されましたが、3地区持ち回りで毎年行われる予定です



統監の田村市長などの観閲を受ける団員たち

式典は、西根地区市民センター前で実施。市民生活の安全を守る団員たちが、精悍な顔つきで整列しました。

式典で、渡辺東六団長は「旧3町村の消防団を統合し、体制は大きく変化しましたが、我々の使命は変わりません。尊い人命と貴重な財産を守るべく訓練に励み、なお一層の消防防の任に当たるよう期待すること訓示。

統監の田村正彦市長は、渡辺団長を中心に一糸乱れぬ団結の下、郷土愛護の精神に燃え、消防防災技術の練磨と知識の向上に努められるよう、切に念願すると団員たちを激励しました。

工藤ハツさんが元気に100歳を迎える

12月25日に工藤ハツさん（大更）が、めでたく100歳の誕生日を迎えられました。

工藤さんは田頭生まれ。結婚後は、80歳ごろまで農業に従事していました。現在は週3回デイサービスに通うなど元気に過ごしています。

12月26日には、渡辺義光市福祉事務所所長などが工藤さんの自宅を訪れ、「これからも元気で長生きしてください」と励まし、記念品などを手渡しました。



渡辺福祉事務所所長から記念品を受け取る工藤ハツさん(右)

スキー大会に備え中学生がジャンプ台整備



一列に並びランディングバーンを踏み固める中学生たち

市で開催されるスキー大会を目前にした1月5日、安代中学校（外岡立之介校長、生徒107人）と田山中学校（安保忠雄校長、生徒51人）の生徒は、岩手自衛隊の隊員などとともに田山スキー場のジャンプ台整備をしました。約150人の参加者は、雪が降りしきる中、3基のジャンプ台のランディングバーンに一列に並び、足で雪を踏み固めるなどして大会が円滑に行われるよう整備に取り組みました。